周南の島「大津島」コミュニティ紙

潮流

2018年 3月号
No.260

大津島データ　185世帯
人口 262人 男109人 女153人
高齢化率 77.9%
(平成30年1月31日現在)

題字：末兼南子さん　イラスト：あゆこさん

完成!! 島の新たな名物

文＝大津島地区コミュニティ事務局　神杉朋史

大津島で古くから愛され食されてきた「すだいだい」が、クラフトビール『島麦酒SUDAI-DAI』として商品化されました。

これは、市内の飲食店約450店舗が加入する周南料飲組合が主体となって、大津島コミュニティと協力して、市の共創プロジェクトに採択され、実現しました。

島麦酒SUDAIDAI完成披露会/1月25日サンルート徳山

11月末に大津島で収穫したすだいだい約200キログラムを、やまぐち地ビール株式会社（山口市小鯖）ですだいだいの果汁を絞って追加し、皮をビールでろ過して香りを付け、6千本を生産しました。

ラベルはデザイナー松田翔剛さん（刈尾）のデザインです。

1月25日の完成発表会では、安達壽富会長はじめ、10名が島から出席し、料飲組合や議員さん等と完成を祝い、2月8日の市内飲食店での解禁日を迎えました。

大津島の文化祭で飲んだ皆さんも、美味しいと喜んでいただきました。文化祭に参加できなかった島の皆さんには、後日、お届けします。

すでに今回作ったビールは完売しており、今から来年の製造が楽しみです。今後も、島の魅力を生かした宝となる名物が商品となることを期待しましょう。

羊の羽は丘にあり

vol 04

春が来て。
夏が来て。
秋が来て。
冬が来て。

もうすぐ移住して一年。
変わるものもあるけれど、変わらないものもあって。少しずつ移ろう風景を日々感じながら暮らしています。
きっと暮らしは線のように一方向ではなくて、円のように回って循環するものだと感じます。

松田 翔剛

行事報告 建国記念奉祝行事・地区文化祭

報告者：大津島地区社会福祉協議会 会長　石田信行

島麦酒SUDAIDAIで乾杯/安達雅之さん

2月11日（日）、海の郷で地区のコミュニティ・社協・民協・交安協が建国記念奉祝行事と文化祭を開催しました。当日は凍るように寒い日でしたが、会場に110人余りが元気に参集しました。

日本国の建国を奉祝した後、文化祭の部では、特別芸能鑑賞として周南を拠点に活躍し大津島に縁のある『山口ふく太郎ふく子』のトークショーでプロの芸を堪能しました。

昼食休憩時には若潮の会が焼き肉を準備したバーベキュー大会や、先月完成披露されたばかりの『島麦酒SUDAIDAI（しまばくしゅすだいだい）』が会場に用意されており、試飲された皆さんは酢橙とビールの相性の良さに感心していました。

文化祭の午後の部は、お馴染みの大津島漫遊記。今年度から始まったソレーネ周南の移動販売の話しが取り入れられ、出演者の惚けぶりに、会場全体が大爆笑しておられました。最後の島の若手男子が加わっての『回天おどり』は一挙手一投足が揃い、見ごたえがありました。

また、会場の一角では『アイランダーの報告』や『末兼正純氏写真展』『血圧測定』も行われ、熱心に鑑賞し、また利用されていました。

このように多彩な催しを楽しみ、歓談し、大いに地域のふれあいを深めることのできた一日でした。

若潮の会通信 №22

文：屋野郁夫

寒風小雪の中、釣り針のような腰で誰彼となく支え合いながら、普段より（たぶん）足取り軽く、一大イベントを楽しみに体育館へ。総勢112名の島民と島に気持ちを寄せる人たちが集まりました。

建国記念奉祝と共に文化祭もあり、楽しい劇、小学校運動会で踊った「回天」、昔と振りが違っていましたが懐かしく観させていただきました。

若潮の会メンバーとして昼食バーベキュー係に。火の守りと試食担当の役を全うしていました。「おいしかったよ」の言葉に、次の行事の参加を決めて…。住み主を失った家を目にちょっと寂しい気持ちの中、朋輩と楽しい一日を過ごせました。

追伸　ポテトマラソンに向け、若潮の会で休耕田を開墾し、「さつまいも作り」に着手。猪対策に鉄柵運びを。「これだけ若いもんがおったら仕事がはかどる」と。でも皆すでにアラフィフアラカン（還暦）。

今回若潮の会参加21名。

屋野さんご夫婦（敬子さん/郁夫さん）

行事報告 アイランダー

報告者　大友　翔太

平成29年11月18日、19日の2日間、東京池袋にて、アイランダー2017が開催されました。島からは5名の参加でしたが、夏に来島した拓殖大学の学生3名が、ボランティアスタッフで活躍するなど合計8名で、大津島のPRを行いました。

今回で4回目となり、会場での地名度も上がり、多くの来場者がある中、41名の方に定住促進に関する問診票の記入をしていただきました。その中の2名は、実際に島にきて、相談とお試し暮らしを体験され、現在移住を検討されています。少しずつですが、成果があがりつつあります。

新しいメンバーの松田翔剛さんや現地の学生が、会場で島の魅力を語る姿は、とても新鮮で、島の未来へ新たな可能性を感じることができました。

徳山湾見聞録

8．春の訪れを感じ取るものは何ですか？

文＝回天記念館　三崎英和

本当に寒かったこの冬ももうじき終わり、待望の春を迎えようとしていますが、皆さんは春を何で感じ取りますか。もちろん気温という方もおられると思いますが、鳥たちで感じる方もおられるのでは。

春を告げる鳥というと、まずツバメでしょうか。

巣作りのために記念館の周りにもたくさん飛んできますが、近年、飛来するツバメの数が少なくなったという報告もあります。ツバメは害虫を捕食する益鳥、たくさん繁殖させてやりたいですね。

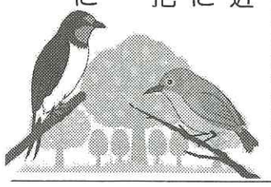
そしてツバメと双璧をなすのはウグイスでしょうか。

耳にする「ホーホケキョ」の音の方が、目に映るツバメの姿より、より自然にその存在を認識できます。

ところでウグイスは一年中いる留鳥ですから、冬も私たちの周りにいるはずですが、その所在を意識することはありませんね。

鳥の鳴き声は「さえずり」と「地鳴き」に分けられ、「さえずり」は主に繁殖期に聞かれ、繁殖期ではない秋から冬にかけては「地鳴き」に変わります。

ウグイスの「さえずり」はあの「ホーホケキョ」ですが、「地鳴き」は「チッ、チッ」というあまり特徴がない音であることから、他の鳥の鳴き声の中に紛れ込んでしまい、近くにいるのにその存在を把握できない、ということになります。



お知らせ

【次回潮流発行予定日】
5月1日　第261号

移動図書館　やまびこ号ジュニア
3月20日（火）、4月20日（金）
馬島11：30～　刈尾12：20～

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

▼預託者　ご遺族　石田美代子　様
夫　石田正也　様の香典返しとして
金5万円（市社協1万円、大津島社協4万円）

▼預託者　ご遺族　石丸親光　様
母　石丸ヨシ　様の香典返しとして
金7万円（市社協2万円、大津島社協5万円）

今後の主な行事予定

4月1日（日）　大津島さくらまつり
会場：ふれあいセンター、学校体育館
内容：須金交流会、京太郎コンサート

4月1日（日）さくら茶会
会場：石柱庵（近江）
内容：徳山高専茶道部によるお点前・お茶菓子
主催：徳山ロータリークラブ主催　参加無料
※問い合わせは松田（刈尾）まで
携帯080-4417-0823

市嘱託職員募集（大津島ふれあいセンター）

【募集内容】
①勤務場所：大津島ふれあいセンター
②業務内容：管理運営業務（現場責任者）
③応募条件：普通自動車運転免許を持つ人で、大津島に在住の方あるいは採用後大津島に住んでいただける方
④定　　員：1名
⑤雇用期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
⑥日数･時間：月16日、8時30分～17時15分
⑦報　　酬：月額114,100円（各種社会保険あり）
⑧選考方法：面接　※日時は後日お知らせします
⑨申し込み：3月5日（月）までに履歴書を、郵送(必着)あるいは持参により大津島支所または地域づくり推進課に提出してください。
⑩問い合せ：地域づくり推進課（電話34-3572）

平成30年度大津島巡航利用券を交付します

①対 象 者：75歳以上の大津島地区住民
②交付枚数：24枚（4月1日から使用可）
③申請場所：大津島支所又は市役所仮庁舎都市政策課（銀座2-13、旧近鉄松下百貨店5階）
④申請方法：保険証・運転免許証等、本人確認のできる書類をお持ちください
⑤受付期間：3月22日（木）から
⑥その他
※平成30年度中に75歳を迎えられる方は、誕生日以降の申請となります
※5月以降の申請の場合、来年3月までの月数×2枚分になります
※代理人による申請も可能です
⑦問い合せ：都市政策課（電話22-8406）

知っちょるかね

昔日のひとひら

文＝松本千恵子

公民館の引っ越しを控え、少しずつ片付けておこうと、古い書類などをめくっていたら、忘れていた色々な事柄が残っていて、ついつい見入ってしまう。たとえば殺鼠剤の申請や軒別の消毒の記録だったり。何よりその中に残る、今は亡き人達の名前。

また、人口七百人余りの頃の、買い物ツアーや、島での合同お見合い会なんていう記録もある。島の美味しい物を食べながら歓談してもらい、カップルが出来れば、という催しだったかな。その時カップルは誕生したのかどうか、古い記憶の彼方ではある。

写真も白黒の古いものから、学校の子供達の行事を写したもの、ふれあいセンター、登山道、モニュメント等の完成式典や、県知事来訪の写真には、どなたもまだ若い島の重鎮達が並んでいる。

さて、そうした写真の中に馬島地区の敬老会らしい、白黒のものもある。その写真からは当日のメニューが少し見て取れ、紅白饅頭、寿司パック、おみやげはブドウ、バナナ、ゆで卵があるような。そういえばこんなメニューだった。婦人会の人達が何日も前から準備して、公民館の大広間にすし詰めの老人達をもてなしたものだった。

そうした中には私の祖母も笑顔で写っているのだけれど、その傍に子供達が「うまばあちゃん」と呼んでいた、近所のソノさんの笑顔がある。子供達が通りかかると「ヤレ、ええ子らあになんないとやろう」と言っては、仏壇のお供えのお菓子をくれたものだった。だから、子供達は今でも「うまばあちゃん」の家の前を通りかかると、「うまばあちゃん」の話を始めるが、その子達も、もうみなええ年になっている。

古い話である。「うまばあちゃん」は顔も名前も覚えてはいるが。その古い写真のジイちゃんバアちゃん、顔には覚えがあるけれど、どこの誰ベエさんかとんと思い出せない。そこで公民館の前を通りかかる人を呼び止めては「これは誰？」と聞いて回り、名前や屋号を教えてもらった。聞けば思いだし、人となりも改めて聞いたりして、なかなかに面白かった。その聞いて判ったものを二月十一日の文化祭にささやかながら披露させていただいた。他にもアルバム二冊。行事の記録や子供達の亥の子祭りや、お大師さまの相撲大会が貼ってあるものも並べた。

文化祭に来られた方が、手に取って懐かしがって下さったので、良かったなとおもう。この写真も欲しい方があれば、手元に置いていただければ、写真も喜ぶと思うので、ぜひお知らせ下さい。

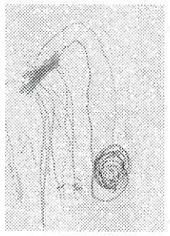
四十年余り馬島地区と共にあった公民館。春から市民センターとして新しい形でスタートします。古い話もまだまだ教えて下さいませ。

お世話になりました。ちょっと行ってきます。

この度、徳山に住まいを移すこととなりました。

子供の成長は早いもので息子も今年で３歳になります。３つ子の魂百までと言います。今の息子には、より多くの経験と刺激が必要です。そこで①友達づくり②集団生活③コミュニケーション力を磨く。この３つを学ぶために、一度街で修行させようと思います。移住して７年２か月。本当に色々なことがありました。私の人生で最も濃密で、充実した年月でした。その全てが、大津島の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

住まいこそ変わりますが、仕事も、コミュニティ活動も継続していきます。第二の故郷のため、頑張ります。今後ともご指導よろしくお願いします。


絵/裕翔くん

平成３０年３月　　大友　翔太・あゆみ・裕翔

【編集後記】
４月１日から大津島支所が大津島市民センターに変わります。これまでの業務とともに、より地域づくりに取り組みやすい体制を構築することになります。また、馬島公民館は、ふれあいセンター内に入り、市民センター馬島分館に。大津公民館が、大津分館になります。
日本国内だけでなく、大津島も激動の平成30年度になる予感がします。
文責：神杉

◆発行　第260号－平成30年3月1日－大津島コミュニティ推進協議会　◆編集　潮流編集委員会　◆事務局　大津島支所